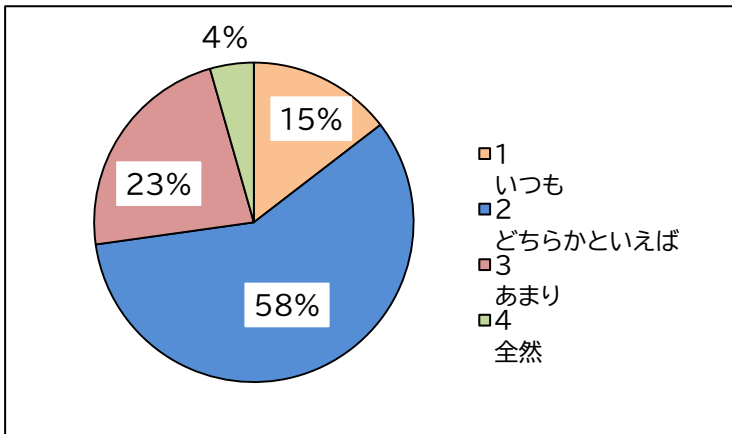


種市中学校チャレンジ目標(ターゲット7)

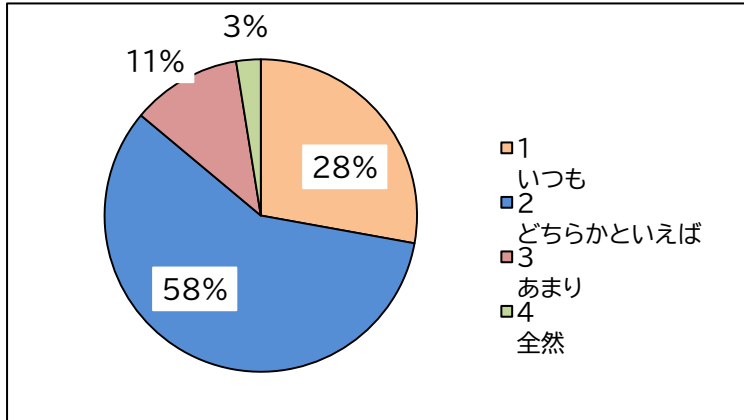
学校評価アンケート結果(生徒)

ターゲット1 自分には何かしら良いところがある



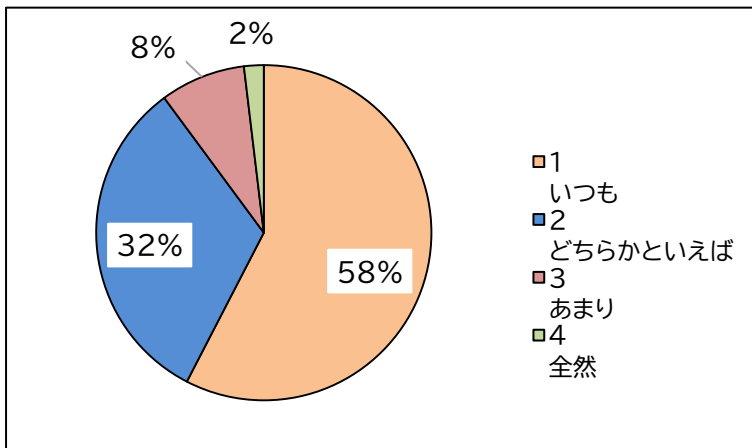
自分の良いところがあると感じている生徒が73%となった。目標が70%であったので目標をクリアしたことになるが、まだ30%弱の生徒が自分の良さを見いだせていないのも現状である。さらに、学習・生徒会活動・部活動という生活全般において生徒が生き生きと活躍する場を設定し、自己肯定感が高められるようにしていきたい。

ターゲット2 毎日の授業が楽しい、わかる、集中できる



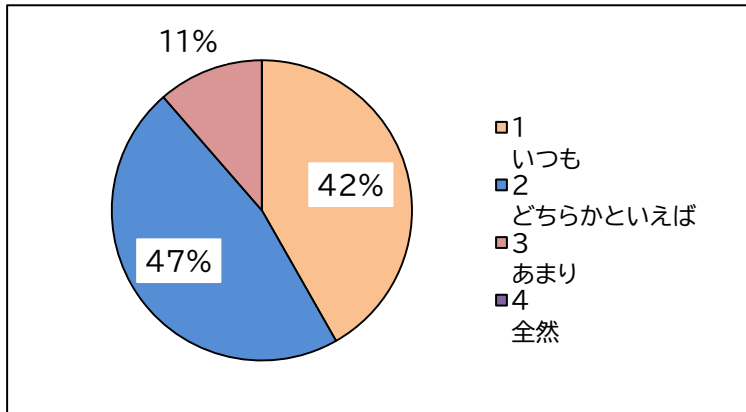
学習に対する意識はとても高い結果となった。86%と約9割の生徒の学習意欲が高く、「わかる」「できるようになりたい」と思い、授業に取り組んでいるようである。授業をする側の教師の結果も93%であり、工夫された授業を仕組むことにより、生徒が生き生きと学習していることがわかる。今後も生徒の意欲に応える授業をしていきたい。

ターゲット3 計画通りに家庭学習を行い、毎日勤勉ノート提出している



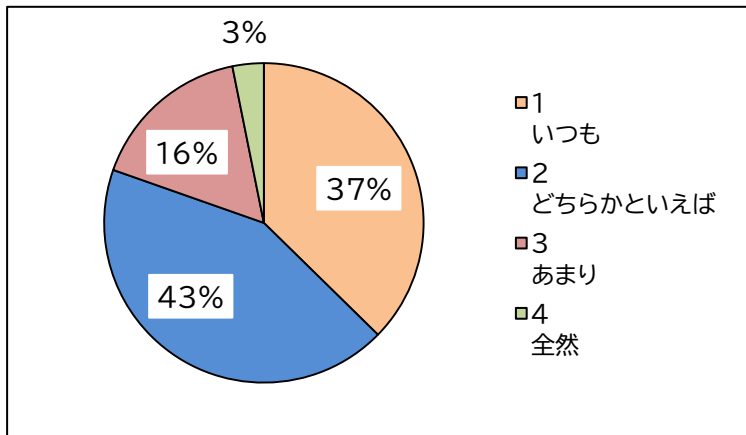
家庭学習の取組はとても充実している。90%の生徒が肯定的な回答をしており、60%弱の生徒が「いつも行っている」との回答であった。とても高い水準である。家庭学習に対する教師の励ましも継続して取り組んでいる。また、クラスマッチ形式で5教科の基礎的なテストを行っているが、このことも家庭学習を行う意欲向上につながっていると思われる。

ターゲット4 学習、部活動、学校行事等で満足感や感動を得ている



学習以外の諸活動に対しても89%の生徒が満足している。コロナ禍ということで行事が延期・縮小となることが多かった年ではあったが、その中でも学級や部活動での取り組みから「協力」「団結力」が生まれ、生徒の満足感・感動といったことにつながった。来年度も、工夫を凝らしながら生徒によってより良い活動なるよう支援をしていきたい。

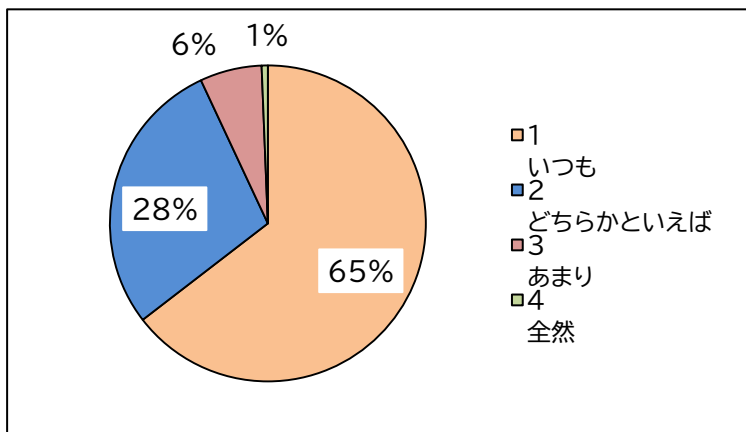
ターゲット5 夢や希望をもち、将来のことを考えて生活している



「総合的な学習の時間」や「学活」において将来の職業などについて学習をしているが、ほとんどの生徒が将来に夢を抱いて生活していることがわかった。

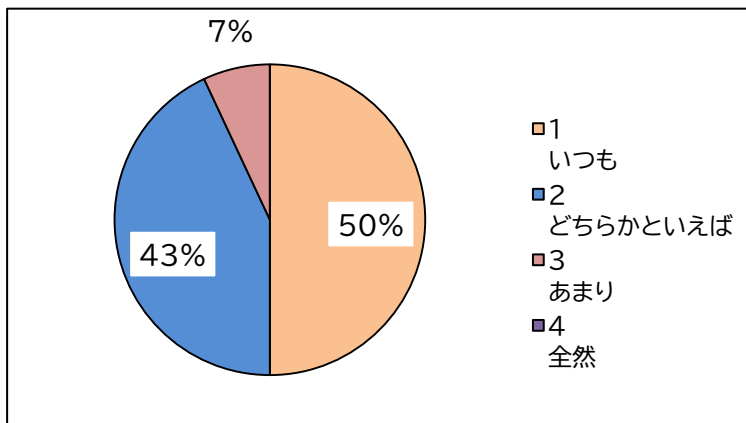
来年度も2年生での職場体験活動や1年生での職場見学（本年度はなし）漁業体験学習などを充実させ、高校進学という目先の目標だけでなく、将来の職業への夢を持てるような指導をしていきたい。

ターゲット6 不安や悩みを相談できる人が身近にいる



本年度、重点的に取り組んできた教育相談であった。結果93%の肯定的な回答を得られた。生徒が抱える悩みや不安に早く対処することで、いじめなどの問題解決につながると考えている。これからも継続的にアンケートをとったり、教育相談期間を設け生徒一人一人の話を聞くことはもちろん、日常生活の中の気づきを大切にしていきたい。

ターゲット7 社会や学校、家庭のルールやマナーを守り、進んで挨拶する



生徒は大きなトラブルもなく生活しているので、ルールを守ろうとする意識はとても高い結果となった。挨拶については生徒会が掲げる三大文化の一つとなっているが、周囲からの評価はあまり高くない。あいさつ運動や生活委員会の活動などでも意識付けしているが、定着していかない側面も見られる。今後、家庭と協力しての取組が必要となる。